

全国でも珍しい工業高校と技術士会の連携企画です

「技術士を知ろう！ in 北海道札幌工業高校」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2022年度の活動第3弾は、北海道札幌工業高等学校(札工)の2年生を対象に実施しました。

昨年に引き続き、札工OBでもある北海道開発局の矢野雅昭技術士の協力も得て実施しています。

2. 実施概要

講演日時：2022.10.12(水)9:50～11:40

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等
技術士の仕事内容と役割(講演2編)
3年生との取組事例紹介

対象者：北海道札幌工業高校

土木科2年生 63名

参加者：小澤、永井、塩見、千葉(記)

(ミライ研4名)、矢野(一般協力1名)

3. 技術士資格の説明、制度概要等

北海道札幌工業高校での「技術士を知ろう！」では、まず小澤代表より、技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性等の説明を行いました。

これまでミライ研では、多数の学校で「技術士を知ろう！」講演を実施してきていますが、生徒全員が生徒服というシチュエーションはかなりレアな機会となっています。

小澤代表も今年49歳となり、見た目も醸し出す雰囲気もかなり大物感が漂いだして来ています。

写真-1をよく見ると、講演者と言うよりも教壇に立つ先生に見えてしまうのは私だけでしょうか。



写真-1 進路指導の先生に見える!?小澤代表

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士の仕事(矢野技術士)

まずは札工OBでもある矢野技術士から、土木系公務員の仕事と技術資格について講演しました。

自分の職歴を交えて公務員(北海道開発局)という立場で取り組んでいる仕事、研究所での経験や大学進学、博士号の取得等も紹介し、その中で技術士という資格の役割や重要性などを説明しました。

矢野技術士ですが、昨年に引き続き2年連続の講演となります。昨年は岩尾内ダムからオンラインで参加してくれていたのですが、今年の春に札幌勤務となり、初リアルでの講演となりました。



写真-2 今年はリアル講演となった矢野技術士

(2) 技術士の仕事(塩見技術士)

続いて荒井建設(株)に所属する塩見技術士から、「建設会社で必要な資格ってなに? 技術士がいると現場は変わるか?」と題した講演を行いました。

技術士がいる現場では、自ら対策を提案でき、不具合も未然に防止できることを伝えてくれました。

塩見技術士も昨年に引き続き2年連続の講演となったのですが、もう安定感がありすぎです。笑

札工の卒業生は、建設会社系に就職する割合が高いこともあり、現場のプロである塩見技術士の言葉は、生徒達が将来を考えるととても良い機会になったようです。



写真-3 キラスマイルを見せる塩見技術士

5. 3年生との取組事例紹介

講演最後は、合同会社 LinC(リンク)に所属する永井技術士から対象生徒の1年先輩である、札幌工業高校の3年生と協働で取り組んでいる事例を紹介しました。5年前からスタートした、札幌市内の広場活用に関する取り組みに関するもので、地域の方々の思いを形にするという課外授業のような位置づけで実施しているものです。

今年、3年生が計画・設計班、測量班、施工班の3班に分かれて、対象の広場に係わる取組を実施。

昨年布設した「モチー」の平板ブロックに、子供達と一緒にポスターカラーで着色を行った他、園路整備では、測量⇒丁張り⇒掘削⇒施工までの一連作業を行いました。その3年生の生徒数名が2年生に取り組み内容を紹介し、学校で勉強したことを実社会に適用する面白さや難しさを1年先輩が説明したことで、授業を受けていた2年生の生徒も、いろいろ考える機会になったようです。



写真-4 後輩達への想いを語る3年生

6. 質疑応答

参加メンバーが生徒からの質問に回答する質疑応答では「社会人になって高校でこれをやっておけば良かったと思ったことはありますか」、「一番大変だと思った仕事はなんですか」、「土木の仕事で一番やりがいを感じる時はどんなときですか」、「現場で一番必要な人材はどのような人材ですか」といった、今後の就職活動に直結するような質問や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。

7. まとめ

生徒からの感想には「技術士を取ることで、どのようなことが有利になるか良く分かった。高校から勉強して20代でとりたい」、「技術士という資格がどういうもので、自分にどう関わってくるのかなどを知ることができた」「資格取得についての意欲が上がったことと今までの勉強とこれからの勉強の大切さについて感じました」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

アンケートでは、有効回答数40人中39人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、40人中29人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価で4.2、4.3と高評価をいただきました。今回の講演会が将来を考える上での大きなきっかけになったようです。

最後に、この出前講座は川村先生、梶先生の多大なるご支援やご協力があって実施できています。この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。